

大多和伴彦と読む『下町ロケット』

池井戸潤【著】 / 小学館 / 1,785円

ゲスト

おおたわ ともひこ
大多和 伴彦

約7年間「野生時代」の編集に携わり、のち独立して書評、文庫解説、人物ルポなどを中心に執筆活動中。著書に『金儲けのネタ本—一攫千金100人の実話』、『名探偵・金田一耕助99の謎』、『名探偵・金田一耕助99の謎』、編者に『憑き者』などがある。

著書

『金儲けのネタ本—一攫千金100人の実話』 1996年3月 二見書房
『名探偵・金田一耕助99の謎 ミステリー・ファイル』 1996年11月 二見書房

編集

『憑き者』 2000年3月 アスキー

解説書評

赤川次郎著『日の丸あげて』 解説 小学館文庫
樋口一郎著『風の日にララバイ』 解説 ハルキ文庫
鯨統一郎著『千年紀末古事記伝 QINGQING』 解説 ハルキ文庫
北村薫著『覆面作家の愛の歌』 解説 角川書店
田中芳樹著『クレオパトラの葬送 薬師寺涼子の怪奇事件簿』 講談社
『産経新聞』 書評欄 産経新聞社
『週刊宝石』 書評欄 光文社

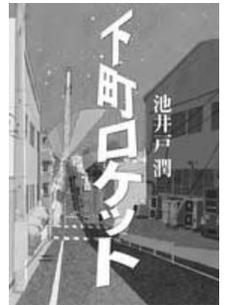
他 多数



テキスト

『下町ロケット』

池井戸潤【著】小学館 / 1,785円



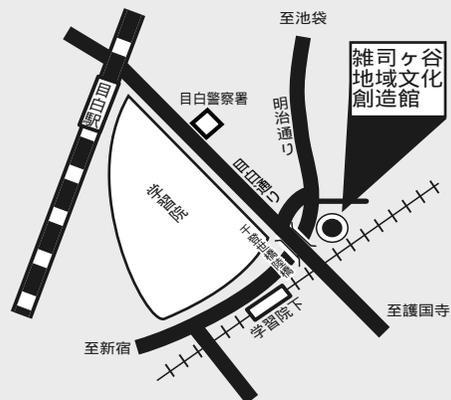
かつて研究者としてロケット開発に携っていた佃航平は、打ち上げ失敗の責任を取って研究者の道を辞し、いまは親の跡を継いで従業員200人の小さな会社、佃製作所を経営していた。会社は小さくても技術は負けない。モノ作りに情熱を燃やし続ける男たちの矜持と卑劣な企業戦略の息詰まるガチンコ勝負。さらに日本を代表する大企業との特許技術（知財）を巡る駆け引きの中で、佃が見出したものは？

第149回直木賞受賞作。

amazon.co.jpより抜粋

* テキストは各自でご用意下さい

開催日 201年 8月 21日 (日)
開場 午後 1時 30分
開演 午後 2時
終了 午後 4時 (予定)
会場 千登世橋教育文化センター内
雑司ヶ谷地域文化創造館
第三会議室
参加費 1,000円 (予約 800円)
ご予約は toiawase@ko-enkai.comへ



最寄りのアクセス> 東京メトロ副都心線雑司ヶ谷駅 徒歩 1分
JR目白駅・高田馬場駅 徒歩 12分 都電荒川線学習院下駅
徒歩 5分 千登世橋バス停下車 徒歩 1分

* このチラシをお持ちいただいた方も参加費が800円となります